

今日のトピック アジア経済と株式市場の見通し

好調な景気、企業業績を背景に株価は堅調な展開

ポイント1 アジア全域の景気は概ね上向きで推移

- 8月の日経アセアン製造業PMIは50.4と、7月の49.3から再び50を超えとなりました。日経インドネシア製造業PMIが7月の48.6から8月に50.7と50を超えたことが主因です。日経アセアン製造業PMIが対象としている7カ国のうち、インドネシアの経済規模は約37%（2016年）と最大のウエイトを占めています。
- 日経は、インドネシアの製造業の企業マインドは改善しているとしています。今回の調査データの回収期間は8月12日～22日であり、予想外の利下げ（8月22日夜に決定）は反映されていないと推察されます。9月の日経インドネシア製造業PMIはさらに上昇すると思われます。
- また、中国のPMIが引き続き51台を維持する強さで、中国が周辺アジア諸国や地域のけん引役となっています。
- 一方、8月の日経インド製造業PMIは51.2と、7月の47.9から急回復しました。7月に全国統一の物品サービス税（GST）の導入で、企業が受注や生産を控え、在庫を取り崩す動きを強めたことで景況感が一時的に悪化したものと考えられます。GSTの導入は、中期的には物流コストの低下などによりインド経済にポジティブな影響を与えると期待されています。
- 8月は台湾、フィリピン、ベトナムの製造業PMIも50台を維持しており、アジア全域での景気は概ね上向きで推移していると判断されます。

【アジア製造業PMIの推移】

(ポイント)

年/月	17/1	17/2	17/3	17/4	17/5	17/6	17/7	17/8
国・地域								
中国	51.3	51.6	51.8	51.2	51.2	51.7	51.4	51.7
韓国	49.0	49.2	48.4	49.4	49.2	50.1	49.1	49.9
台湾	55.6	54.5	56.2	54.4	53.1	53.3	53.6	54.3
アセアン	50.0	50.3	50.9	51.1	50.5	50.0	49.3	50.4
インドネシア	50.4	49.3	50.5	51.2	50.6	49.5	48.6	50.7
タイ	50.6	50.6	50.2	49.8	49.7	50.4	49.6	49.5
マレーシア	48.6	49.4	49.5	50.7	48.7	46.9	48.3	50.4
フィリピン	52.7	53.6	53.8	53.3	54.3	53.9	52.8	50.6
ベトナム	51.9	54.2	54.6	54.1	51.6	52.5	51.7	51.8
インド	50.4	50.7	52.5	52.5	51.6	50.9	47.9	51.2

(注1) データは2017年1月～2017年8月。□は50以上を示す。

(注2) アセアン（東南アジア諸国連合）の対象国は、インドネシア、タイ、マレーシア、フィリピン、ベトナム、シンガポール、ミャンマー。

PMI（購買担当者景気指数）：中国は国家統計局ベース、それ以外は日経ベース。

(出所) Bloomberg L.P.、IHS Markitのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

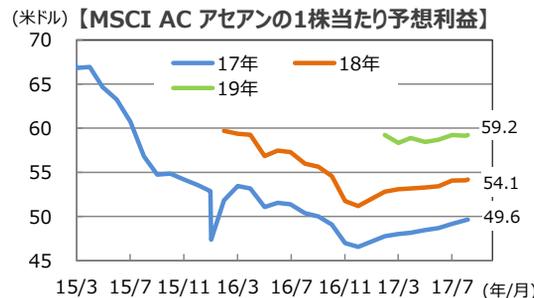
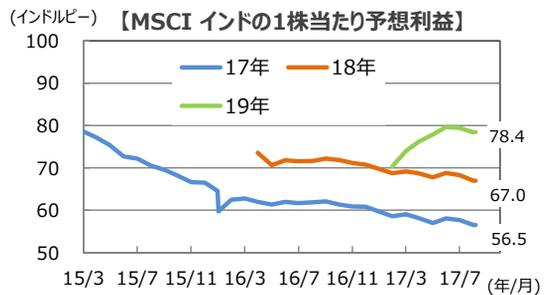
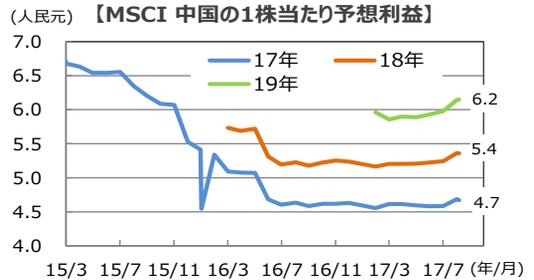
■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

ポイント2 中国、インド、インドネシアは2桁増益が続く

- アジアは企業業績も堅調に推移しています。アジアを代表する中国、インドの1株当たり予想利益は18年、19年と大幅な増益が予想され、アセアンもインドネシアが好調です。
- 中国は8月以降、18年と19年の1株当たり予想利益が若干上方修正されています。一方、インドの1株当たり予想利益は、高水準ではあるものの緩やかに下方修正されています。GSTの導入による企業業績に与える影響が不透明であることなどが要因と思われます。しかし、19年の予想利益が大幅に上方修正されているように、GSTの導入は中期的には業績にプラスに作用すると期待されます。
- アセアンの17年、18年の1株当たり予想利益は16年12月を底に緩やかな上方修正が続いています。国別に見るとインドネシアが好調です。インドネシア株式市場は予想外の下げとインフラ投資期待から8月に史上最高値を更新しましたが、企業業績も3年連続で2桁増益が続く見通しで、株価を下支えています。

今後の展開 良好な経済、企業業績、通貨が株式市場を下支え

- アジア株式市場は、堅調な推移が期待できそうです。中国経済の持ち直しや欧州経済の好調さが世界的な景気回復を促す中、アジアの企業業績が順調に成長すると考えられるためです。
- アジア通貨も落ち着いた推移が続くと期待されます。今後、欧米の金融政策の変更に注意を払う必要がありますが、米欧ともに低インフレのもとで緩やかな金利上昇が想定されること、グローバルで流動性が潤沢なことなどから、相対的に経済が健全なアジアに資金が流入しやすい環境が続くと思われます。良好な経済、企業業績、通貨がアジアの株式投資を支えたと考えられます。



(注) データは2015年3月～2017年9月。月次ベース。2017年9月は5日現在。予想はFactSet。

(出所) FactSetのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【1株当たり予想利益の前年比伸び率】

(単位: %)

国・地域	年	2017年 (予想)	2018年 (予想)	2019年 (予想)
MSCIアジア		23.2	11.1	10.4
中国		17.7	14.7	14.7
インド		11.4	18.5	17.1
アセアン		11.4	9.1	9.3
シンガポール		10.1	5.2	5.9
インドネシア		16.5	13.7	11.9
マレーシア		3.4	6.6	1.6
タイ		7.1	10.6	8.6
フィリピン		3.0	11.6	12.1

(注) データは2017年9月7日時点の予想。予想はFactSet。

(出所) FactSetのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここもチェック! 2017年9月 1日 中国景気の底堅さを示したPMI
2017年8月22日 インドの経済・市場動向 (2017年8月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。